

**FIH OLYMPIC
QUALIFIER**
KAKAMIGAHARA 2012



オリンピック予選 【女子】

開催日時 5 月 1 日 (火) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 ----- 13:30	マレーシア (世界ランク23位)	1	$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 1 & - 2 \end{pmatrix}$	2	チリ (世界ランク17位)
第2試合 ----- 16:00	アゼルバイジャン (世界ランク15位)	1	$\begin{pmatrix} 1 & - 3 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix}$	4	日本 (世界ランク9位)
第3試合 ----- 18:30	ベラルーシ (世界ランク22位)	5	$\begin{pmatrix} 3 & - 0 \\ 2 & - 0 \end{pmatrix}$	0	オーストリア (世界ランク29位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合

マレーシア 1 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -2 \end{pmatrix}$ 2 チリ

勝点 1 勝点 7
0 勝 1 分 3 敗 2 勝 1 分 1 敗

<得点>

マレーシア : 49分 #19SLYVESTER SILIN
チリ : 66分 #14URROZ、69分 #15CARAM

<戦評>

マレーシアのセンターパスにより前半戦が開始された。序盤は中盤での激しいボールの奪い合いが続く。最初にチャンスをつくったのはチリ。12分#7INFANTEが左サイドから展開し、それをサークル手前の#19KHAMISが合わせてダイレクトでサークル内に流し、#15CARAMがダイレクトシュートを打つも枠を外す。一方マレーシアは中盤でボールを奪い、素早いパスで相手DFをかわしサークル内に幾度も入るが、チリDFの早いチェックによりシュートを打つことができない。その後も両チーム大きなチャンスを作ることなく前半を0-0で折り返す。

後半戦に入り、積極的に攻めるのはチリ。中盤からのパスが前線に一気に繋がリチャンスをつくるもののマレーシアの固い守備により得点を得ることができない。一方マレーシアはその堅いDFから速攻で41分にPCを獲得。左からのタッチシュートを狙うが、チリGK#1SCHULERが止める。45分にもマレーシアはPCを獲得。#14ABDUL RAHMANがプッシュで左にいる#7RUHANIに合わせダイレクトで打ち決まったかに思えたが、アップとなり先制点にはならない。続く49分にもPCを獲得。#14ABDUL RAHMANが右にプッシュを打ち#19SLYVESTER SILINが滑り込みタッチシュートを決め、先制点を得る。一方チリも66分にPCを獲得。それを#7INFANTEが止め#14URROZのスィープがストレートで決まり追いつく。69分チリはPCを獲得。#13CARAMがスィープをストレートにうち#15CARAMが合わせタッチシュートが決まり逆転する。試合はそのまま終了し、チリが2-1で逆転勝利した。

テクニカルオフィサー	KING Elizabeth	アンパイア	ROACH Lisa
ジャッジ	SHIN Jung Hee		PRESENQUI Irene
	FENNER Juriah		

第2試合

アゼルバイジャン 1 $\begin{pmatrix} 1 & -3 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 4 日本

勝点 9 勝点 10
3 勝 0 分 1 敗 3 勝 1 分 0 敗

<得点>

アゼルバイジャン : 6分 #17HAN
日本 : 12分 #6村上、23分 #5中川、32分 #4岩尾、58分 #5中川

<戦評>

日本のセンターパスにより前半戦が開始された。序盤から両チームパスを繋ぎ攻撃をしかける。6分アゼルバイジャンが右サイドからサークル内に打ち込んだボールを、日本のDFがトラップミスし、そのボールに反応した#17HANがGKをかわし先制点をあげる。追い付きたい日本は11分、右サイドから#8山本のスピードある突破でPCを獲得。#2林がスィープで#11藤尾に合わせ、タッチシュートするもポストにあたる。そのリバウンド処理からアゼルバイジャンの反則をさそいPSを獲得。#6村上が左すみに強烈なシュートを決め同点に追いつく。勢いにのった日本は#8山本を中心とした巧みなパスワークで相手陣内に攻め込み24分、#10駒澤からのパスをサークル右でうけた#8山本がGKをさそい出しフリーの#5中川に合わせ追加点をあげる。さらに日本は33分左ロングコーナーからボールをうけた#4岩尾が、サークル内にいた#11藤尾に合わせるがGKにはじかれる。そのリバウンドを#4岩尾がダイレクトスィープで豪快に決め、さらにリードを広げる。3-1で日本のリードのまま前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、一進一退の攻防が続く。両チームチャンスを作ることが出来ず試合は膠着状態となる。58分日本は、相手陣内でボールを奪い#7大塚が右サイドからえぐりこみ、ゴール前にいた#11藤尾がダイレクトで#5中川にながし、GKの頭上に強烈なシュート決め4点目を挙げる。追加点がほしいアゼルバイジャンは粘り強い守備からの速攻で攻撃を仕掛けるが、日本の堅い守備を前になかなかチャンスを作ることができない。その後も日本が優位に試合を進め、4-1で日本が勝利し再び首位となった。

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	CHURCH Amber
ジャッジ	FENNER Juriah		SEYMOUR Kylie
	KING Elizabeth		

第3試合

ベラルーシ 5 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 オーストリア

勝点 7
2 勝 1 分 1 敗

勝点 0
0 勝 0 分 4 敗

<得点>

ベラルーシ : 8分 #12KURHANSKAYA、23分 #6STSIAFUTKINA、29分 #11MIKHEICHYK
69分 #14SILITSKAYA、70分 #10PIOTUKH

オーストリア :

<戦評>

ベラルーシのセンターパスにより試合が開始された。組織で攻めるベラルーシは8分、サークル内で相手のクリアミスを利用し#12KURHANSKAYAがひろい、そのままリバースシュートを決め先制点を挙げる。その後も攻め続けるベラルーシであったが、オーストリアの堅い守りに追加点を挙げる事ができない。19分、ベラルーシはPCを獲得。GK#32ANDERLEが冷静にセーブし、チャンスをものにすることができない。23分には中盤でのダイレクトパスから#12KURHANSKAYAがドリブルでサークル内に入りGKを誘い出し、ラストパスを受けた#6STSIAFUTKINAが押し込んで追加点を挙げる。更に29分には、#11MIKHEICHYKがヒットシュートを決め、3-0とリードを広げた。一方オーストリアは、チャンスをつくる事ができない。ベラルーシのリードのまま前半戦が終了した。

後半戦が開始され、激しいボールの奪い合いの中オーストリアは12分にPCを獲得。しかし得点にはいたらぬ。その後は両チーム積極的に攻め込むがチャンスをつくる事ができず時間が経過。56分ベラルーシはPCを獲得するが得点にならない。対するオーストリアも61分にPCを獲得。一度はGKに止められるがリバウンドを相手DFが足で止めPSとなる。しかしシュートは不運にもポストに阻まれ今大会初得点とはならない。69分ベラルーシは左サイドからパスを回しセンターリングから#14SILITSKAYAがタッチシュートを決め、更に70分にPCを獲得。GKに止められるがリバウンドを、相手DFが足で止めPSを獲得。#10PIOTUKHが左下に冷静に決め、そのまま5-0でベラルーシが勝利した。

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	SANDERS Hannah
ジャッジ	KING Elizabeth		CLELLAND Irene
	FENNER Juriah		

明日の組み合わせ【男子】

第1試合 13:30	オーストリア (世界ランク21位)	VS	ブラジル (世界ランク42位)
第2試合 16:00	日本 (世界ランク15位)	VS	南アフリカ (世界ランク12位)
第3試合 18:30	チェコ (世界ランク23位)	VS	中国 (世界ランク17位)